

研究通信

No. 101
1976年4月刊
村落实社会研究会局
事
山形大学人文学部
日本経済史研究室
(山形市小白川町)

締切 一九七六年六月三〇日(水)

あて先 〒九九〇 山形市小白川町

山形大学人文学部
村落实社会研究会事務局

自由課題報告希望者も、六月三〇日まで報告題目(仮題でも可)を事務局まで連絡されたい。

第一四回大会の共通課題について

三月一二日(金)午後一時から中央大学文学部社会学研究室で、運営委員会と宿題委員会との合同委員会が開かれ、その後、宿題委員間での相互連絡のうえ、本年度の共通課題をつぎのように決定した。

村落生活の歴史と現状

農民についての「生活破壊」とは何か

かかる共通課題を設定した趣旨については、後掲の第二回研究会(関西地区)において、安孫子麟会員がとりまとめたものを、岩本が代読しているので、そことを参照されたい(本号六頁上段と七頁下段)。なお、合同委員会の出席者は、安孫子麟(宮城教育大)・川本彰(明治学院大)・島崎稔(中央大)・高山隆三(慶應義塾大)・中野卓(東京教育大)・蓮見首彦(東京学芸大)・長谷川宏二(農林省農業技術研究所)・安原茂(成蹊大)・吉沢四郎(中央大)・岩本由輝(山形大=事務局)の一〇名。

以上の共通課題について、つきの要領で報告者を募集する。

会場 島根県鹿足郡津和野町・町営国民宿舎青野山荘に決定した。多数会員の参加を期待する。なお、この会場については観光シーズンであるとともにあって、五月初めに予約金千円を納入しなければならないとのことで、山口大学の方でとりあえず百名分のお立て替えを頂くことになつたが、ついでには参加者数の確認のため第一回の出欠アンケートを本号と前後して山口大学から送らされることになつてるので、折り返し御返事願いたい。

津和野は改めて紹介するまでもないが山陰の小京都と呼ばれ、中世において吉見氏一四代、その後、坂崎出羽守一六年、龜井氏一代の城下町である。また、明治期に活躍した哲学者西周や森鷗外出生の地でもあり、その旧跡も保存されているほか、町内から周辺にかけて史跡や景勝地も多い。